

## 理事会および評議員会議事録から

日本英文学会事務局を会議本部とするオンライン会議にて、2022年5月14日に理事会および評議員会が開催されました。主要な議案は以下の通りです。

1. 2021年度事業報告
2. 2021年度編集委員会活動報告
3. 2021年度大会準備委員会活動報告
4. 2021年度決算報告
5. 2022年度予算確認
6. 2023年度大会開催校の決定
7. 2024年度大会開催支部の確認
8. その他

\*なお上記、事業報告、決算報告、予算、および2022年度事業計画は、詳細を学会ウェブサイト「情報公開」欄でご覧いただけるようになっています。

[8. その他]中の主な議案は以下の通りです。

- (1) 理事増員とそれともなう評議員の交代について——2022年3月の理事会で理事増員が決定したことを踏まえ、定款の定めるところに従い、奥聡一郎新理事(関東支部)と竹村はるみ新理事(関西支部)が推薦され、承認されました。任期は現在の理事の残任期間(2023年5月の理事会・評議員会まで)となります。また、竹村はるみ氏は評議員(関西支部)を途中退任し、その後任として山田雄三新評議員が就任いた

しました。新評議員の任期は現在の評議員の残任期間(2025年5月の理事会・評議員会まで)となります。

- (2) 顧問の新設について——会長の諮問を受ける役職として顧問が設置されることとなりました。2023年度より、顧問設置が望ましい場合は会長が理事会の承認を経て任命することになります。
- (3) ハラスメント防止規定制定のための起草委員会の設立について——英文学会におけるハラスメント防止のための取り組みとして、ハラスメント規定起草委員会が2022年9月より設立されることが決まりました。当学会のハラスメント防止に関するガイドラインの制定に向けて審議が行われる予定です。

## 大会準備委員会からのお知らせ

### ◎委員の交代

本年7月1日をもって金山亮太、米谷郁子、中島渉、山本裕子、菅野悟、深谷素子の6氏が任期満了により退任しました。後任には、大久保謙(専修大学)、内丸公平(大阪公立大学)、志渡岡理恵(実践女子大学)、小笠原亜衣(関西学院大学)、戸塚将(旭川医科大学)、北和丈(東京理科大学)の6氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は小林宜子氏、副委員長は松本朗氏です。

### ◎第94回大会の『大会Proceedings』について

第78回大会から刊行がはじまった『大会Proceedings』ですが、2019年度から冊子体での発行を廃止し、ウェブでのみ公開する電子版(PDF版)へと移行いたしました。第94回大会に関しましては、研究発表37件中23件(62%)、シンポジウム発表48件中18件(38%)、特別シンポジウム発表4件中3件(75%)、総発表数89件中44件(49%)の論文をお寄せいただきました。なお、『大会Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することが認められています。

また、『大会Proceedings』の電子版(PDF版)への移行に伴い『支部大会Proceedings』も、各支部ウェブサイトで公開される電子版に移行いたしました。詳細は各支部の担当者にお問い合わせください。

### ◎第94回大会で発表された方へ

第94回大会は新型コロナウイルス感染拡大の状況下、大会形式を変更したうえでの開催となりましたが、すべてのプログラムがZoomによるオンライン配信の形で実施されました。会員外の方を含め、2日間とも非常に多くの方にご参加いただきました。皆様には心より御礼申し上げます。5月21日から5月25日までの間、学会ウェブサイトで実施しましたGoogle Formによるアンケートにも121件の回答があり、オンライン大会の利点についても多くの意見が寄せられています。

なお、大会期間中に学会ウェブサイトに掲載していたハンドアウトにつきましては大会終了後に一旦公開終了としています。改めて掲載をご希望の発表者の方は事務局(etaikai@elsj.org)

までお知らせください。その際、著作権等の問題がないことを事前にお確かめください。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### ◎第95回大会の開催日・開催校等

時 2023年5月20日(土)、21日(日)

所 関東学院大学関内キャンパス(神奈川県横浜市)

開催校委員 奥聡一郎(委員長)、児玉晃二、中村友紀、萩原美津、長谷川裕一、原田祐貨、深津勇仁、福圓容子、古谷裕美

支部委員 佐藤和哉(委員長・日本女子大学)、伊澤高志(立正大学)、石川大智(慶應義塾大学)、久世恭子(東洋大学)、佐藤光重(慶應義塾大学)、西野方子(東京理科大学)、古屋耕平(青山学院大学)

関東学院大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。また全国大会担当支部である関東支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを行いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ◎第95回大会のシンポジウム企画の内定

第95回大会で行われるシンポジウムの企画が下記のように内定しました(敬称略。タイトルの変更の可能性あり)。第1～6部門は大会第1日(5月20日)、第7～12部門は第2日(同21日)にそれぞれ開催される予定です。

第1部門「近世英国好古学とブリティッシュ・

- アイデンティティの探求」  
 講師 土橋 善仁(中京大学教授)
- 司会・講師 高野美千代(山梨県立大学准教授)  
 講師 佐藤 正幸(山梨大学名誉教授)  
 講師 曾村 充利(法政大学教授)  
 講師 Angus Vine(英国スターリング大学准教授)
- 第2部門「英文学と風景(仮)」  
 司会・講師 吉野 由起(東京女子大学准教授)  
 講師 今村 隆男(和歌山大学教授)  
 講師 出羽 尚(宇都宮大学准教授)  
 講師 高岸 冬詩(東京都立大学教授)
- 第3部門「逃亡・帰郷・事故・不動——「女性のモビリティ移動」の真相」  
 司会・講師 高桑 晴子(お茶の水女子大学准教授)  
 講師 井石 哲也(福岡大学教授)  
 講師 松井 優子(青山学院大学教授)  
 講師 阿部 公彦(東京大学教授)
- 第4部門「ブレグジットと英文学」  
 司会・講師 中井亜佐子(一橋大学教授)  
 講師 三村 尚央(千葉工業大学教授)  
 講師 エグリントンみか(神戸市外国語大学教授)  
 講師 星野 真志(慶應義塾大学非常勤講師)
- 第5部門「怪物と中世英文学」  
 司会・講師 寺澤 盾(青山学院大学教授)  
 講師 伊藤 尽(信州大学教授)  
 講師 大沼 由布(同志社大学教授)  
 講師 小宮真樹子(近畿大学准教授)
- 第6部門「語順決定の諸問題」  
 司会・講師 時崎 久夫(札幌大学教授)  
 講師 柳 朋宏(中部大学教授)  
 講師 那須川訓也(東北学院大学教授)  
 講師 塩原佳世乃(東京女子大学教授)
- 第7部門「ドメスティシティ再訪——親族・秘匿・移動」  
 司会・講師 大串 尚代(慶應義塾大学教授)  
 講師 中野 学而(中央大学准教授)  
 講師 増田久美子(立正大学教授)  
 講師 細野 香里(東京都立大学助教)
- 第8部門「19世紀の科学、Dickinson、Melville」  
 司会・講師 江田 孝臣(早稲田大学名誉教授)  
 講師 小泉由美子(慶應義塾大学非常勤講師)  
 講師 山下 あや(愛知学院大学講師)
- 第9部門「アメリカン・ロマンティシズム再考(仮)」  
 司会・講師 橋本 安央(関西学院大学教授)  
 講師 水野 眞理(京大名誉教授)  
 講師 成田 雅彦(専修大学教授)  
 講師 石原 剛(東京大学教授)
- 第10部門「極小主義理論と言語変化」  
 司会・講師 近藤 亮一(弘前大学講師)  
 講師 田中 智之(名古屋大学教授)  
 講師 前澤 大樹(藤田医科大学准教授)  
 講師 田中 祐太(中部大学助教)
- 第11部門「実例が開く豊かな世界——認知文法と使用基盤モデルの実践」  
 司会・講師 西村 義樹(東京大学教授)  
 講師 平沢 慎也(慶應義塾大学専任講師)  
 講師 野中 大輔(工学院大学専任講師)  
 講師 萩澤 大輝(神戸市外国語大学大学院生)
- 第12部門「英語教育物語を紡ぐ——ナラティブが照らす学びと教えの当事者たち」

司会・講師 坂本 南美(同志社大学准教授)  
講師 斎藤 兆史(東京大学教授)  
講師 原口 治(福井工業高等専門学校教授)  
講師 柳瀬 陽介(京都大学教授)  
講師 和田あずさ(宮城教育大学講師)

ウェブサイトをご覧ください。応募の締め切りは11月1日(必着)です。

### ◎第95回大会招待発表

第95回大会の招待発表講師は次の各氏に内定しました。(敬称略。50音順。)

芦津かおり(神戸大学教授)  
大石 和欣(東京大学教授)  
川崎 明子(駒澤大学教授)  
川端 康雄(日本女子大学教授)  
齋藤安以子(摂南大学教授)  
長畑 明利(名古屋大学教授)  
中村不二夫(関西外国語大学教授)  
辺見 葉子(慶應義塾大学教授)

### ◎第95回大会の特別シンポジウム企画

第95回大会2日目(5月21日[日])の午後には、大会準備委員会企画の特別シンポジウムとして、「翻訳から生まれる文学研究——英語文学を超えて」が開催される予定です。登壇者は次の各氏に内定しました。どうぞご期待ください。

司会・講師 佐藤 元状(慶應義塾大学教授)  
講師 邵 丹(東京外国語大学講師)  
講師 藤井 光(東京大学准教授)  
講師 吉田 恭子(立命館大学教授)

### ◎第95回大会研究発表の募集

第95回全国大会の研究発表を募集しております。学会のウェブサイト(<http://www.elsj.org>)上でご確認のうえ、奮ってご応募ください。サイト上のフォーマットを利用して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。詳しくは、学会

### ◎シンポジアムのアイデア募集について

シンポジアムのテーマに関する提言は随時受け付けておりますので、事務局([etaikai@elsj.org](mailto:etaikai@elsj.org))までお寄せください。ただし、提案者は参加することはできませんのでご注意ください。寄せられたアイデアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジアムを企画立案する際の参考資料として活用します。

### ◎大会ワークショップについて

第86回大会よりワークショップが導入されておりますが、第95回大会には応募がありませんでした。応募要領は学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に掲載しておりますので、奮ってご応募ください。第96回大会(2024年開催)ワークショップの応募締め切りは、2023年4月末日です。

## 編集委員会からのお知らせ

### ◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切が設定されております。昨年9月1日締切の英文号には22本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切の和文号には11本の投稿論文が寄せられました。

### ◎第45回新人賞応募状況

第45回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切となりました。応募論文総数は、7篇(英文学2篇、米文学3篇、英語学2篇)です。

応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は1篇の応募論文が第一次選考を通過しましたが、慎重な審査の結果、残念ながら、新人賞、佳作ともに該当論文なしということに決定いたしました。全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第99巻に掲載されます。

#### ◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第99巻においては、残念ながら「該当論文なし」となりました。

### 事務局からのお願い・ご報告

#### ◎支部大会資料統合版の刊行停止について

支部大会資料統合版は過去2回(2020・2021年度)刊行を中止してウェブ掲載のみとしておりましたが、今後も冊子体での刊行を行わないこととなりました。支部大会の開催日程、プログラム等については、本部および各支部のウェブサイトでご確認ください。

#### ◎今年度の大会について

2022年5月21日(土)・22日(日)に同志社大学にて開催予定であった第94回全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続き対面での開催を断念し、Zoomを用いたオンライン大会として実施されました。12のシンポジアム、1つの特別シンポジアム、29の研究発表、8つの招待発表が行われました。

今回もリアルタイムでのオンライン開催となりましたが、発表者、登壇者の皆様からは充実したご発表をしていただきました。また、当日会員を含む多くの方が各地からZoomによる

参加をしてくださり、どの研究発表・シンポジアムも盛況のうちに終わりました。シンポジアム講師・研究発表者の皆様、および参加くださった皆様には厚く御礼申し上げます。

一方でハンドアウト配布、質疑応答、大会時の会員交流のあり方などについて、オンライン開催ゆえの制約があり、ご不便をおかけしたかと存じます。今回の運営上の反省点やアンケートでいただいたご意見は次回以降に活かしてまいります。さらなるご提言などありましたら、事務局(ejimu@elsj.org)までお寄せください。

また、オンライン大会の実現に向けて多大なご尽力を賜った2022年度の大会準備委員会の皆様にも、この場を借りて御礼申し上げます。加えて、当初予定していた同志社大学での対面開催はかないませんでした。本大会に向けてご準備をされていた開催校・開催支部の委員の皆様にも、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ◎来年度の大会について

すでに学会ウェブサイトでもお知らせしておりますように、来年の第95回大会は2023年5月20日(土)・21日(日)の両日に、関東学院大学関内キャンパスにおいて開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった関東学院大学の皆様に心より御礼申し上げます。

対面での開催を前提としておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況によってはハイフレックス方式(対面およびZoomによるライブ配信)の導入の可能性も視野に入れて準備を進めていく予定です。全国大会に関する最新情報は、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org/>)に掲載されますので、定期的にご確認をお願いいたします。

なお、懇親会につきましても現在開催を慎重に検討しております。こちらも決定次第学会ウェブサイトにてお知らせいたします。

#### ◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校のご尽力により、全国大会期間中に、託児業者に委託する形で会場内に託児所が開設される予定です。詳細や申し込み方法等は、決まり次第学会ウェブサイト上で告知いたします。

#### ◎ハラスメント防止規定制定のためのワーキンググループおよび起草委員会の設立について

日本英文学会におけるハラスメント防止のための取り組みとして、ハラスメント規定起草委員会が2022年9月より設立される予定です。またそれに先駆け、6月よりハラスメント防止規定制定のためのワーキンググループが発足し、ハラスメント防止規定に向けての方策や方向性を取りまとめていただいております。今後、ワーキンググループおよび起草委員会を通じて、当学会のハラスメント防止に関するガイドラインの制定に向けて審議が行われる予定です。

#### ◎メーリングリストによる学会情報の配信について

2022年秋より、学会活動に関する情報は随時メーリングリストを通じて会員の皆様に一斉配信する予定です。メールアドレスのご登録がお済みでない方や変更のある方は学会ウェブサイト (<http://www.elsj.org/>) のトップページにある「メールアドレス登録フォーム(学会メーリングリスト用)」より手続きをお願いいたします。なお、学会活動に関する情報はこれまで通り学会ウェブサイトにも掲載いたします。

#### ◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2022年度会費は、例年通り、

一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員に同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。2年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が2年目になっています。今年度中に2年度分の会費の納入がなかった場合は、2023年3月末をもって会員資格を失うこととなります。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メールで事務局 ([ejimu2@elsj.org](mailto:ejimu2@elsj.org)) までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。ゆうちょ銀行に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。利用ご希望の方は、メールで、事務局 ([ejimu2@elsj.org](mailto:ejimu2@elsj.org)) までご連絡ください。

なお、66歳以上の会員を対象とした終身会員制度を設けております。詳細につきましては、学会ウェブサイト (<http://www.elsj.org/>) の「入会案内」から「終身会員制度ご案内」をご覧になるほか、メールで事務局 ([ejimu2@elsj.org](mailto:ejimu2@elsj.org)) までお尋ねください。

#### ◎会員著書案内について

2012年4月より、会員の皆様から事務局宛て

にご著書を献本いただいた場合、学会ウェブサイトや著書紹介を掲載できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。掲載期間は、出版から2年間です。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。

掲載をご希望の方は、以下の情報を事務局(ejimu@elsj.org)までメールで、WORDの添付ファイルにてお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

この会員著書案内欄には、2022年7月末の時点で31冊が紹介されております。ぜひご覧ください。

#### ◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しています。詳細は学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org/>)の「情報公開」から「海外研究者招聘後援事業規程」をご覧ください。同規程に該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞふるってご応募くださいますようお願いいたします。応募する団体は申請書類を事務局(ejimu@elsj.org)宛てメールにてお送りください。

#### ◎次回のNewsletterについて

次回のNewsletterは、2023年3月中旬刊行予定の『第95回大会資料』の巻末に掲載される予定です。それまでの間に、大会開催形態を含めてお知らせすべき情報は、随時、学会ウェブ

サイトやメーリングリストを通じてお知らせしますので、定期的な確認をお願いいたします。

#### ◎その他

本年5月末をもって、前任の田中裕介事務局長、市川千恵子編集担当書記、小宮真樹子大会準備担当書記、小林広直ウェブ担当が退任されました。それぞれのご所属大学での研究教育業務が多忙を極めるなか、英文学会の運営にも献身的にご尽力いただきましたことに心より御礼申し上げます。とりわけ、ここ2年続く新型コロナウイルス感染拡大の影響で学会運営においてもイレギュラーな業務が増える中、常に優れた判断力と粘り強さで臨機応変に対応してくださいました。前任の皆様のご尽力から生まれた新たな業務のノウハウは英文学会の大きな財産となっていることも付記いたします。

この交代に先立って、4月より新たに、田村齊敏(事務局長補佐)、永嶋友(オンライン補佐)、馬淵恵里(編集担当書記)、奥畑豊(大会準備担当書記)の4名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に異動となりました中村仁紀、昨年度より引き続き会計担当補佐を担当する侘美真理とともに、6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の全国大会が終わる5月末までとなります。引き続き2名の有能な事務職員に支えられ、服部典之会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと懸念しておりますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

日本英文学会事務局

中村仁紀・田村齊敏・侘美真理・永嶋友・  
馬淵恵里・奥畑豊